

ことば部門（最優秀賞）

「ことば部門」応募用紙

顔	限	ワ	火	生		っ	っ	山	命
が	り	り	を	を	ほ	ゆ	大	を	を
登	と	と	灯	享	ら	く	又	縦	吹
れ	松	伊	す	け	貴	り	天	横	き
了	山	予	。	に	方	て	や	無	込
い	に	弁	ボ	伊	の	か	け	尽	ま
ま	は	弁	ッ	予	家	ま	ん	に	れ
す	永	が	と	弁	の	ん		伊	予
。	久	生	明	は	中	よ		予	弁
る	に	焼	く	の	に			は	は
う	。	シ	シ	心	も				
。	愛	る	シ	に	。				松

13×10 (130マス)

題名「伊予弁は、脈動する。」

最優秀賞

中学生の部 松山市立高浜中学校 2年 北地 鼓太郎

「ことば部門」応募用紙

っ	い	い	つ	も	か	田	く	本	ぼ
と	い	つ	か	く	に	出	こ	館	く
道	い	も	る	湯	奈	し	こ	が	の
後	ん	が	。	気	て	て	も	あ	す
温	に	ま	。	の	あ	く	あ	る	む
泉	な	ん	。	神	せ	つ	番	。	町
に	っ	す	。	の	を	を	台	一	に
入	り	る	。	湯	流	ぬ	で	人	は
り	も	ほ	。	に	す	ぐ	入	で	道
た	ず	く	。	ぞ	。	。	り	入	後
い	っ	か	。	ぶ	。	は	百	温	泉
な	。	が	。	ん	。	は	六	。	。
。	ず	お	。	と	。	だ	十		

13×10 (130マス)

題名「道後温泉とぼく」

最優秀賞

小学生の部 松山市立湯築小学校 3年 藤崎 鈴夢

「ことば部門」応募用紙

あ	ん	と	の	し	松	れ	っ	山	っ
っ	を	故	秋	や	山	た	頑	の	ぬ
、	送	郷	。	ん	茄	お	張	春	く
春	る	を	っ	ど	子	守	る	ほ	い
が	冬	離	っ	ら	の	り	ん	こ	わ
ま	。	れ	体	い	煮	を	ぞ	ん	い
た	っ	た	に	い	物	っ	ね	な	レ
帰	も	我	気	と	を	け	レ	会	っ
、	ん	が	を	頼	っ	た	と	話	ほう
て	た	子	っ	張	味	球	祖	で	う
来	よ	に	る	る	が	鬼	母	始	よ
た	い	み	ん	家	よ	の	が	ま	レ
!	レ	か	よ	族	う	夏	。	。	松

13×10 (130マス)

題名「温かき言の葉のまち」

最優秀賞

一般の部

松山帖句

優秀賞

中学生の部 松山市立垣生中学校 2年 宮岡 隼矢

「ことば部門」応募用紙

松	て	く	し	る	松	に	く	て	優
山	と	親	く	よ	山	な	と	も	しい
を	残	切	角	う	の	つ	実	お	い
し	て	た	か	な	人	で	の	い	オ
て	大	松	な	い	の	並	一	し	レ
い	切	山	い	が	人	ん	つ	い	ン
ま	な	は	み	が	が	で	一	み	シ
た	故	は	み	ら	ら	い	つ	か	色
い	郷	僕	な	み	考	る	か	仲	で
こ	に	が	な	ん	現	ま	ま	良	丸
ん	と	仲	が	な	し	る	る	く	く
な	と	良	優	い	て	で	円	む	と

題名「 みかん 」

13x10 (130マス)

優秀賞

中学生の部 松山市立日浦中学校 3年 黒星 開登

「ことば部門」応募用紙

岐	松	き	来	な	さ	時	た	く	打
路	山	て	へ	い	と	代	の	上	ち
に	の	丘	の	か	意	が	か	が	上
立	偉	に	挑	僕	志	変	戦	野	げ
ち	人	立	戦	は	は	わ	争	球	た
向	の	つ	。	は	変	も	を	ボ	た
か	よ	。	。	今	わ	、	経	ル	が
っ	う	虚	春	年	ら	人	て	子	空
て	に	子	風	受	ない	の	きた	規	高
や	人	の	や	験	い	温	松	も	見
る	生	気	闘	生	の	か	山	見	高
。	の	分	志	。	未	。	。	。	。

題名「未来へむかへて」

13x10 (130マス)

優秀賞

一般の部

森田 欣也

「ことば部門」応募用紙

く	街	笑	ま	倍	こ	を	く	い	っ
む	顔	顔	た	に	の	押	れ	。	車
る	の	ひ	会	返	街	し	る	こ	イ
の	し	と	い	し	。	て	の	ん	ス
が	て	達	た	て	。	く	が	な	で
す	一	が	く	く	。	れ	こ	夢	も
て	明	なる	なる	水	が	る	の	も	自
ぎ	日	い	る	の	と	さ	街	由	由
な	も	る	わ	が	う	し	。	単	に
こ	出	の	が	ら	を	い	ス	は	出
の	掛	が	こ	の	い	声	ロ	叶	掛
街	け	の	の	街	。	が	口	之	け
。	た	の	い	。	。	。	。	て	た

題名「夢を叶えてくれる街」

13x10 (130マス)

優秀賞

一般の部

大政 孝子

「ことば部門」応募用紙

て	ら	て	て	い	て	け	あ	ひ	日
故	れ	い	し	ま	も	ど	り	始	ハ
郷	な	ま	ま	す	聴	あ	ボ	め	タ
に	く	す	う	。	な	の	ケ	た	か
帰	て	。	。	。	れ	ね	防	手	い
っ	息	そ	ど	ん	た	。	止	紙	い
て	子	の	こ	と	伊	予	で	か	ハ
来	は	温	へ	や	予	。	可	私	で
ま	し	か	行	さ	弁	。	。	の	い
し	タ	か	っ	し	か	。	。	。	い
た	。	。	。	。	。	。	。	。	い
									。

題名「ことばの力」

13x10 (130マス)

「ことば部門」応募用紙

題名 「未来のりした、松山の温かさ」

地	域	の	温	さ	を	つ	つ	温	水
こ	い	の	の	の	上	た	た	の	田
る	る	の	の	。	下	菜	魚	。	で
私	言	。	。	。	り	の	の	。	育
た	業	。	家	の	す	味	温	。	?
る	の	人	々	上	る	の	の	。	た
の	温	々	に	。	小	温	。	。	み
宝	の	か	と	流	魚	か	。	。	海
物	。	。	。	。	の	。	。	。	の
。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
	こ	の	。	。	。	。	。	。	。
	ん	わ	。	。	。	。	。	。	。

13×10 (130マス)

ことば部門（特別賞）

「ことば部門」応募用紙

内電車は走り続ける穴えん団
うと背中をおしてくれる。市
せとくられる。よし。がんばる
と見上げれば。心をほりさ
とどく。うむいてないでふ
もの。進み続けり。ゴールに
いた。みんなだれかのたから
ろと。電車に言葉が書かれて
市内電車。ある時ふと見上げ
いつもみんなを運んでくれる

題名「走る穴えん団」

「

13x10 (13072)

ことばのちから実行委員会委員長賞

小学生の部 松山市立素鷲小学校 6年 入船 陽愛

「ことば部門」応募用紙

うら若も練習を始めます。今年か
うといつも思いますが。今年か
が応えん。してくれませんか。今年か
変です。でも近所の人が家族
おどろいた。は、一回二十分くら
しまいは、ちが教えた。くら
先は、いた。ちが教えた。くら
昔や、こいた。おじさんたち
は、子どもも会った。いまは
ぼくが松山で残したいもの

題名「子どもしまい」

「

13x10 (13072)

松山市教育長賞

小学生の部 松山市立湯山小学校 4年 一色 敢太

「ことば部門」応募用紙

な、温かい街として、温かい街と
カに溢れ、うに、三十年経つても
気のよふれた。食生活。温泉の湯
に恵まれた。後、温泉文化。皆に愛
される。道に誇れる文化。皆に愛
のよ。山や海。幸
っ松山の良いと。俳句
ど、田舎すぎない街。それが
決して都会とは言いえない。それが

題名「情緒・温もり・松山市」

「

13x10 (13072)

松山市教育長賞

中学生の部 松山市立湯山中学校 3年 蟻川 ななみ